

令和7年度 第2回文化芸術講座

佐久穂町における

きのこ栽培と今後の可能性

講師：増野 和彦 先生



増野 和彦 ますの かずひこ

1957年長野県佐久町（現佐久穂町）生まれ。新潟大学農学部林学科を卒業後に、長野県職員。長野県林業総合センター特産部技師、研究員、主任研究員を経て、研究技監兼特産部長で定年退職。その間、主にきのこの育種及び栽培技術の開発に従事する。退職後も再任用職員などで同センターに在籍。現在、一般社団法人日本きのこマイスター協会・理事、農林水産省・種苗法に基づく現地調査員、日本特用林産振興会・きのこアドバイザー研修・登録委員会委員などにも従事する。主な著書に、『森のきのこを食卓へ』（単行本、築地書館、2024）、『青果物のおいしさの科学』（共著、エヌ・ティー・エス、2024）、『キノコ栽培全科』（共著、農山漁村文化協会、2001）、『林業技術ハンドブック』（共著、全国林業改良普及協会、1998）、『きのこの100不思議』（共著、東京書籍、1997）などがある。日本きのこ学会技術賞（2019）、森喜作賞（2019）なども受賞した。

○日時 令和7年 8月31日(日) 14時00分 ~ 15時30分

○概要 我が国・長野県におけるきのこ栽培の歴史を簡単に説明したうえで、佐久穂町における、これまでの「きのこ」との関わり及び栽培の概要を旧佐久町、旧八千穂村の時代まで遡って述べる。そのうえで、これからの佐久穂町におけるきのこ栽培や里山活用への期待と可能性について説明したい。

○会場 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」メリアホール

○受講料 200円(大学生以下無料)

○町内外を問わず、どなたでも受講できます(事前予約制)

○お問い合わせは佐久穂町公民館まで(Tel:0267-86-2041)

水と緑のうるおい 人の営みが奏でる 未来のふるさと
主催:佐久穂町公民館